

# 環境報告書 2016

東港金属株式会社

110<sup>+</sup>  
Anniversary since 1902

# 1 トップメッセージ

今を是とせず  
お客様ファーストで常に一步前進を目指します

代表取締役 福田 隆



金属類の再資源化及び産業廃棄物中間処理会社である当社は、業務を遂行することが即ち循環型社会形成に貢献していることを常に自覚し、当社が自主的に定めた環境マネジメントシステムの継続的改善を図るための環境方針を基に事業を続けております。

今期もお客様のご協力を賜りましたお陰で、118,511 トンの実績受入・処理をさせていただきました。厚く御礼申し上げます。

本社工場、千葉工場とも複合選別機や風力選別機と破碎ライン導入により、従来は最終処分場で埋め立てていた廃棄物の量を大幅に減少させることができました。加えて昨年より本格稼働を開始した千葉工場のプレシュレッダー効果は、シュレッダー本体の生産性をあげ、心配の絶えない異物混入等による爆発事故の防止にもつながったことは、リサイクル率のUPだけでなく、事業場の安全性も向上するなど、より良い結果に結びつきました。

工場稼働におきましては、周辺地域への環境に配慮し、操業に付随して発生する騒音・振動・悪臭・粉塵等は自主基準を定めて測定、精査しております。この結果は「環境調査結果報告」として、ホームページや環境報告書で公表しております。また実務担当者の意見を基にして、今ある設備や処理方法が適正か？一歩進んだ処理方法がないか？など、工程の見直し改善に取り組み、環境保全を第一にした新しいリサイクル技術の開発を目指しています。

地球環境はめまぐるしく変化し、予期せぬ事象が次々に発生しています。リサイクル優等生といわれている江戸時代には、使い終わった資源を、再利用し、更には自然環境の中に戻すというような循環が上手くおこなわれていたようですが、現代では廃棄物の種類、組成が多様化しており、その中で今ある資源を有効活用させ、また使用済み廃棄物処理のリサイクル率を上げて、新たな天然資源の消費抑制を図ることが地球規模で要求されています。再生技術が確立されていない国では、リサイクル後の不法投棄などずさんな処理で環境汚染が拡大するという悪循環が起きていることも耳にしますので、今後は国を超えてリサイクル技術の供与に力を入れて協力していかなければならないでしょう。当社並びに協力会社がスクラップ類の船積み輸出を行っておりますが、ただ引き渡すだけではなく、再利用に伴うリスクがあれば、対策技術も供与、転写して参ります。

また、新興国の目覚ましい経済需要拡大とそれに伴う価格高騰の影響で、先行き地下資源が枯渇することを考えると、都市鉱山と評されている使用済み小型電子機器等の再資源化（自治体ルート）認定事業は喫緊のリサイクル課題であり、積極的に協力しております。

金属リサイクルを業として創業 115 年になろうとしている当社が、産業廃棄物中間処理業に参入したのが先代の社長の時で平成 6 年でした。現在では大田区の京浜島に加え千葉県富津市の臨港に工場を持つという大都会からのアクセスの良さを生かして、京浜島本社工場では排出事業者様ファーストの視点から、24 時間いつでもお客様の搬入をお受けし、処理困難品でもあるベッドマットを積極的に受入出来る設備投資を行うなど、身近な都市型総合リサイクラーを目指しております。また、中間処理場の増設となる第 5 ヤード (1,570㎡) が今年 (2016 年) 11 月に完成しております。本格稼働後は搬入時のお客様にも一段と便利になるよう配慮してまいります。

# 2 目次

- 1 トップメッセージ ..... 1
- 2 目次、ガイドライン対照表、編集方針 ..... 2  
報告対象期間、編集事務局
- 3 東港金属株式会社について ..... 3
  - 3-1 会社概要 ..... 3
  - 3-2 事業概要 ..... 3
  - 3-3 事業所口ケーション ..... 3
  - 3-4 沿革 ..... 4
  - 3-5 許可・認定・認証 ..... 5
- 4 環境マネジメントシステム ..... 6
  - 4-1 環境方針 ..... 6
  - 4-2 環境マネジメント体制 ..... 7
  - 4-3 目標設定及び達成状況 ..... 8
- 5 事業活動と環境負荷 ..... 9
  - 5-1 マテリアルバランス ..... 9
  - 5-2 マテリアルバランス詳細 ..... 10
- 6 東港金属の責任と役割 ..... 11
  - 6-1 事業所リサイクルフロー ..... 11
  - 6-2 環境安全管理の取り組み ..... 13
  - 6-3 環境にかかわる教育・コミュニケーション ..... 15
  - 6-4 地域との共生 ..... 16
  - 6-5 事業所の安全衛生 ..... 17
  - 6-6 情報セキュリティマネジメント体制 ..... 18
- 7 グループ会社紹介 ..... 19
  - 7-1 トライマテリアル株式会社 ..... 19
  - 7-2 トライメタルズ株式会社 ..... 21
- 8 アーカイブ ..... 22

## ◆ガイドライン対照表

環境報告書ガイドライン 2012 年版	掲載ページ
<b>【環境報告の基本的事項】</b>	
1. 報告にあたっての基本的要件	
(1) 対象組織の範囲・対象期間	2
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	2
(3) 報告方針	6,19
(4) 公表媒体の方針等	2,15
2. 経営責任者の諸言	1,19
3. 環境報告の概要	
(1) 環境配慮経営等の概要	1,6,19
(2) KPI の時系列一覧	8,10
(3) 個別の環境課題に関する対応統括	6,7,8,9,10,13,14,15,17,18,20
4. マテリアルバランス	9,10
<b>【環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況】を表す情報・指標】</b>	
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	
(1) 環境配慮の方針	6,19
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	6,8,19
2. 組織体制及びガバナンスの状況	
(1) 環境配慮経営の組織体制等	7
(2) 環境リスクマネジメント体制	7
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	14
3. ステークホルダーへの対応の状況	
(1) ステークホルダーへの対応	1,6,15,18,19,21
(2) 環境に関する社会貢献活動等	18
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	6,10,19,21
(2) グリーン購入・調達	14
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	11,12
(4) 環境関連の新技术・研究開発	11,12
(5) 環境に配慮した輸送	6,8,9,10,19,20
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発/投資等	6,9,10,11,12,13
(7) 環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル	6,9,10,11,12,13
<b>【事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況】を表す情報・指標】</b>	
各記載項目の共通事項	6,8,9,10,13,14
1. 資源・エネルギー投入の状況	
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	8,9,10
(2) 総物質投入量及びその低減対策	8,9,10
(3) 水資源投入量及びその低減対策	9,10
2. 資源等の循環的利用の状況 (事業エリア内)	8,9,10
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	8,9,10
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	8,9,10
(3) 総排水量及びその低減対策	9,10
(4) 大気汚染、生産環境に係る負荷量及びその低減対策	8,9,10,11,12,14,20
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	11,12
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	8,9,10,11,12
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	11,12,13
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	—
<b>【環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況】を表す情報・指標】</b>	
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	
(1) 事業者における経済的側面の状況	14
(2) 社会における経済的側面の状況	14
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	1,15,18,19
<b>【その他の記載事項等】</b>	
1. 後発事象等	
(1) 後発事象	1,5,9,15,19,20
(2) 臨時的事象	—
2. 環境情報の第三者審査等	—

## ■編集方針

東港金属株式会社は、当社の環境に関する考え方と取組姿勢を中心とした業務内容そのままを、定期的に報告することにより、ステークホルダーの皆様の良きリサイクルパートナーとして、事業活動の透明性、信頼性を評価、ご理解いただきたく、環境報告書を作成いたしております。お気づきになりましたことなど、ご指摘ご指導賜りたくお願い申し上げます。

## 【お問い合わせ先】

東港金属株式会社 経営企画室  
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-17-17 FINEビル2F  
TEL: 03-5767-8860 (代) FAX: 03-5767-8870  
ホームページ <http://www.tokometal.co.jp/>

## ◆環境報告書対象組織・期間

環境目標設定及び達成状況の対象組織は、ISO14001 と同じく東港金属株式会社 (本社・本社工場、千葉工場、東京事務所) 及びトライマテリアル株式会社 (本社営業所) としました。また、マテリアルバランス及び目標設定以外のエネルギー投入量等の実績は天童支店も含めております。

## ●対象期間

第71期 (2015年7月~2016年6月) をまとめたものですが、報告内容には一部第72期の内容を含みます。

## ●準拠、参考ガイドライン

この環境報告書は、環境省「環境報告書ガイドライン (2012 年版)」を参考にして作成いたしました。

## ●発行 2016年11月

当社では、2007 年より【環境報告書】を作成しております。今までの環境報告書は、当社のホームページからご覧いただけます。

# 3 東港金属株式会社について

## 3-1 会社概要

社名 東港金属株式会社 Toko Metal Co., Ltd.  
 代表者 代表取締役 福田 隆  
 創業 1902年(明治35年)7月  
 資本金 1億円  
 従業員数 115名(2016年7月1日現在)  
 年商 53.5億円(2016年6月期)  
 事業所 本社、本社工場、千葉工場、東京事務所、  
 天童支店  
 協力会社 トライマテリアル株式会社  
 トライメタルズ株式会社

## 3-2 事業概要

- ◆金属スクラップ全般に関する業務(国内/輸出入)
- ◆プラスチックの各種リサイクル
- ◆産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業、リサイクル
- ◆その他

## 3-3 事業所ロケーション

**天童支店**  
 〒994-0016  
 山形県天童市東久野本3-2-32  
 TEL: 023-654-3358(代)  
 FAX: 023-653-4770  
 金属製品販売サイト

**東京事務所**  
 〒140-0013  
 東京都品川区南大井6-17-17  
 FINEビル2F  
 TEL: 03-5767-8860(代)  
 FAX: 03-5767-8870  
 営業部門サイト

**本社/本社工場**  
 〒143-0003  
 東京都大田区京浜島2-20-4  
 TEL: 03-3790-1751(代)  
 FAX: 03-3790-1755  
 本社機能と都内立地の条件を活かした小回りの利くリサイクルプラント

**千葉工場**  
 〒293-0011  
 千葉県富津市新富52-1  
 TEL: 0439-80-4545(代)  
 FAX: 0439-80-4646  
 1千馬力のシュレッダーを導入した大型処理プラント

## 3-4 沿革

1902年(明治35年)	創業者福田勝西が東京市神田に伸銅品と非鉄金属の間屋を開業
1947年(昭和22年)	会社組織にし、製品の問屋業を株式会社福田地銅店が、地金の問屋業を東港金属株式会社が扱うことになる
1960年(昭和35年)	東京精錬株式会社を設立、銅合金の精錬及びインゴット製造を行う
1978年(昭和53年)	東京精錬株式会社を東京銅基合金工業株式会社と商号変更
1979年(昭和54年)	東京銅基合金工業株式会社及び東港金属株式会社の工場を京浜島に移転
1994年(平成6年)	電線リサイクル処理(ナゲット)プラントを導入、本社工場に設置 産業廃棄物収集運搬業の許可を取得 産業廃棄物中間処理業の許可を取得(切断・破碎)
1997年(平成9年)	精錬部門と営業部門が一体化し、東港金属株式会社が東京銅基合金株式会社を吸収合併する
2001年(平成13年)	家電リサイクル法に基づき指定引取場所となる
2002年(平成14年)	東京都とエコトライ協定を締結
2003年(平成15年)	家電リサイクル指定引取場所及びスクラップ取り扱い増を目的とした本社第二ヤードを開設
2006年(平成18年)	本社および京浜島工場で、環境マネジメントシステム(ISO14001)を認証取得
2007年(平成19年)	東京都港区芝に東京事務所を開設し、営業部門及び事務部門の一部を移転 千葉県富津市に千葉工場を開設
2008年(平成20年)	本社第三ヤードを開設
2009年(平成21年)	千葉工場が産業廃棄物中間処理業の許可取得 本社・本社工場、千葉工場、東京事務所で、情報セキュリティマネジメントシステム(ISO27001)を認証取得 千葉工場をISO14001認証範囲に拡大登録
2010年(平成22年)	東京都産廃エキスパート認定取得 本社事務所を新事務棟に移転 株式会社メタルポート(旧 福田地銅店)天童支店を譲り受け、東港金属株式会社天童支店として開設 本社工場に産廃選別ライン導入 家電リサイクル法の指定引取場所を閉鎖
2011年(平成23年)	東京都産廃エキスパート認定更新
2012年(平成24年)	埼玉県、福島県を除き、東京都を含む7都県で産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定取得 東京都で産業廃棄物処分業の優良確認認定 本社第四ヤードを開設 創業110周年を迎える。 東京都品川区南大井に東京事業所移転
2013年(平成25年)	埼玉県で産業産廃物収集運搬業の優良確認認定
2014年(平成26年)	千葉工場のプレシュレッダー設置許可取得 創業110周年記念誌発行 東京都産廃エキスパート認定更新
2015年(平成27年)	千葉工場の施設としてプレシュレッダー追加及び保管施設変更の許可取得 千葉工場が自動車リサイクル法に基づく破碎業の許可を取得 本社工場にベットマット処理機設置
2016年(平成28年)	スクラップ船積輸出開始

### 3-5 許可・認定・認証

- ◆産業廃棄物収集運搬業
- ◆産業廃棄物処分業(中間処理)
- ◆自動車リサイクル法に基づく破砕業(千葉工場)
- ◆古物商
- ◆東京都 産廃エキスパート認定(中間処理及び収集運搬業)
- ◆第1種フロン類充填回収業者登録
- ◆ISO14001認証  
本社・本社工場、千葉工場、東京事務所  
トライマテリアル株式会社 本社営業所
- ◆ISO27001認証  
本社・本社工場、千葉工場、東京事務所

#### 東港金属株式会社及びトライマテリアル株式会社 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

\*当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。  
当社及びトライマテリアル株式会社のホームページからもアクセスできます。

平成 28年 11月 9日現在

取得都道府県	許可品目 (●は石綿含有物質を含む)	産業廃棄物											特別管理産業廃棄物				優良産廃 処理業者 認定制度 による 優良認定			
		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず	がれき類	廃酸 PH2.0以下		廃アルカリ PH12.5以上	廃石棉等 (に限り)	廃油(重油等、 灯油類及び軽油類)
		東京都	東港金属	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	トライマテリアル	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県	東港金属	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トライマテリアル	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県	東港金属	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トライマテリアル	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉県	東港金属	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トライマテリアル	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
群馬県	トライマテリアル	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県	東港金属		○			●	○	○	○			○	○	○						○
	トライマテリアル	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茨城県	東港金属		○			●		○				○	○	○						○
	トライマテリアル	○	○			●	○	○	○			○	○	○						○
長野県	トライマテリアル	○	○	○	○	●	○	○	○			○	○	○						○
岩手県	東港金属					●	○	○	○			○	○	○						○
	トライマテリアル					●	○	○	○			○	○	○						○
福島県	東港金属	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トライマテリアル					●	○	○	○			○	○	○						○
静岡県	東港金属					○		○				○	○	○						○
	トライマテリアル					●	○	○	○			○	○	○						○
神奈川県	トライマテリアル														○	○	○	○		○
東京都	トライマテリアル														○	○	○	○		○
千葉県	トライマテリアル														○	○	○	○		○

注)「廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令」が改正され、産業廃棄物収集運搬業(積換えなし)及び特別管理産業廃棄物収集運搬業(積換えなし)の許可が合理化され、これまでは(特別管理)産業廃棄物の収集運搬については、積卸しを行う全ての都道府県又は政令市の許可を受けなければなりませんでした。平成23年4月1日より原則として、一の政令市を越えて収集運搬を行う場合は、都道府県の許可のみで当該都道府県内全域で収集運搬を行なうことができるようになりました。

#### 東港金属株式会社 産業廃棄物処分業許可一覧

平成 28年 11月 9日現在

取得都道府県	許可品目								優良産廃 処理業者 認定制度 による 優良認定
	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず、 がれき類	
東京都	○	○	○	○		○	○		○
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\*当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。  
当社のホームページからもアクセスできます。

## 4 環境マネジメントシステム

### 4-1 環境方針

東港金属株式会社は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、地球環境保全のために尽くします。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当社の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当社が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

- (1) 取扱商品の入荷量を拡大し、当社より排出する産業廃棄物の削減を図り、天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
- (2) 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
- (3) 各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努めます。
- (4) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇抑制に努めます。
- (5) 資源の有効活用のため、コピー用紙使用量の削減に努めます。

2015年7月1日

東港金属株式会社

代表取締役 福田 隆

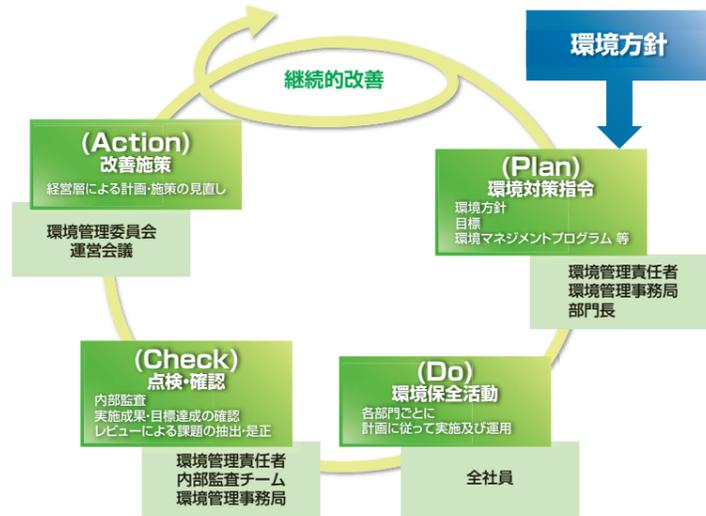
### 【バリューチェーンにおける環境配慮等の取り組み方針】

当社の事業活動におけるバリューチェーンに係わる全ての環境に対する影響を把握し、その中で環境負荷の大きなものを環境方針の重点テーマとして改善を図っております。



## 4-2 環境マネジメントシステム体制

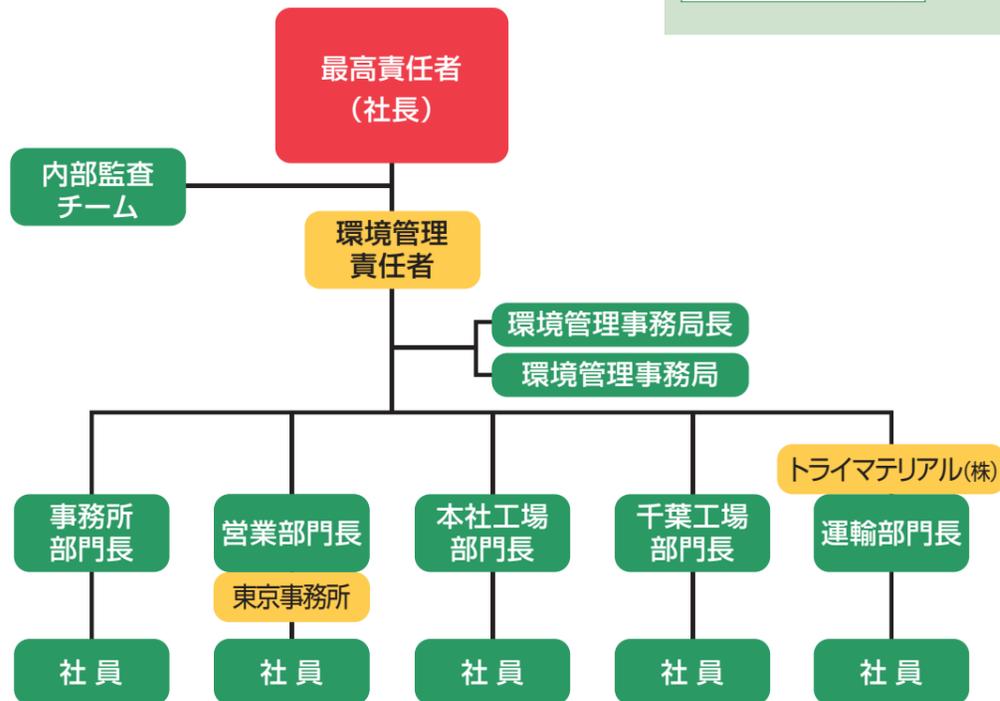
当社は、事業活動を行う上で生じる環境影響を的確に把握し、労働災害や労働疾病防止等をはじめとするさまざまな側面から環境保全に積極的に取り組むため、ISO14001を取得し、社長をトップとした環境マネジメントシステムを構築して、環境方針に沿った管理体制の維持向上に努めています。



環境の継続的改善を目指して2006年6月にISO14001を取得しました。適用可能な法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守する為に自主基準を設け、毎年内部監査を実施し、改善管理をすることで、環境保全水準の向上を図ってまいります。



### 環境管理推進体制



## 4-3 目標設定及び達成状況

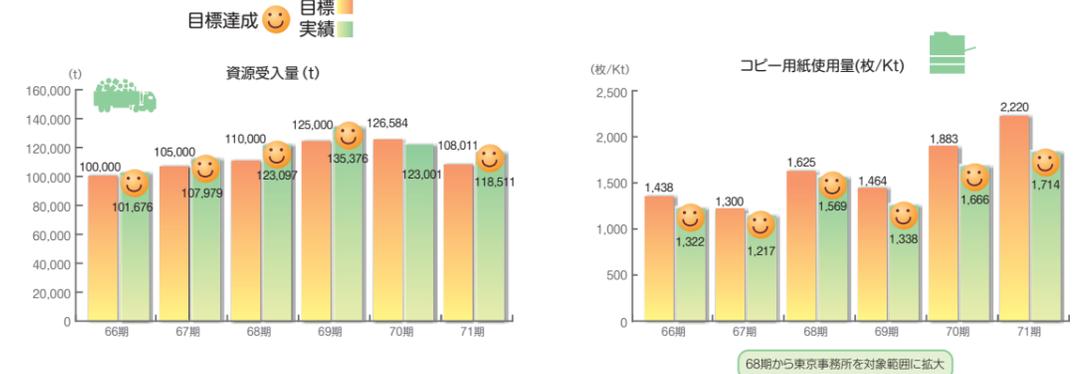
### 71期(2015年度) 環境目標設定及び達成状況

当社は、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。このページではISO14001の適用範囲(本社、本社工場、千葉工場、東京事務所及びトライマテリアル株式会社本社営業所)の71期環境目標・年度環境実行計画に基づくデータを掲載いたしました。71期は千葉工場の電力使用量が目標の50.0 kWh/トンに対して50.1 kWh/トンと0.2%の未達でした。

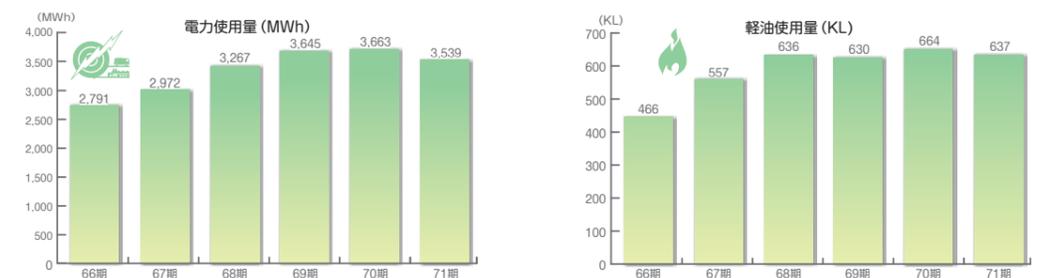
部門	推進項目	71期目標	結果数値	達成度
全社	資源受入量の拡大	(1) 営業力の強化(人員補強) (2) 仕入先の拡大(顧客拡大)	108,000 t/年の達成	118,511 t/年 対目標値よりも更に9.7%の達成
	コピー用紙使用量削減※1	(1) 裏紙の使用徹底 (2) 不要資料の作成削減 (3) 配布資料及び配布先の適正化 (4) メール・電子化の推進 (5) 軽微し不用資料の活用	2,220枚/千tの達成	1,714枚/千t 対目標値よりも更に22.8%の削減達成
本社工場	燃料使用量削減(運搬車輦)※2	(1) アイドリングストップの励行 (2) アクセルの吹かし過ぎ防止 (3) 急発進の防止 (4) 効率的な積み降ろし・運搬 (5) オイル等の定期的交換、車輦整備	1,225ℓ/千tの達成	964ℓ/千t 対目標値よりも更に21.3%の削減達成
	燃料使用量削減(重機)※2	(1) アイドリングストップの励行 (2) アクセルの吹かし過ぎ防止 (3) 急発進の防止 (4) 効率的な積み降ろし・運搬 (5) オイル等の定期的交換、重機整備	1,560ℓ/千tの達成	1,270ℓ/千t 対目標値よりもさらに18.5%の削減達成
千葉工場	電力使用量の削減※3	(1) ライン設備トラブルでの停止時間削減 (2) 定期的メンテナンスの実施	50.0 kWh/tの達成	50.1 kWh/t 対目標値に0.2%の未達成
	シュレッターの稼働率アップ プレシュレッター導入による受入品目の拡大	(1) ライン整備による稼働率アップ (2) シュレッターの停止時間の削減	88.5%の達成	88.6% 目標値を達成
	シュレッターダストの有償売却化	シュレッターダストのフォーミング材料化による有償売却化	フォーミング材生産設備仕様決定	計画通りの進捗中

※1 コピー用紙使用量原単位=コピー用紙購入枚数(枚)/[本社・製品入出荷量(千t)+千葉工場・製品入出荷量(千t)]  
 ※2 燃料使用量原単位=燃料使用量(ℓ)/本社・製品入出荷量(千t)  
 ※3 電力使用量原単位=電力使用量(Kwh)/シュレッター投入量(t)

### ◆全社共通の推進項目の目標と実績



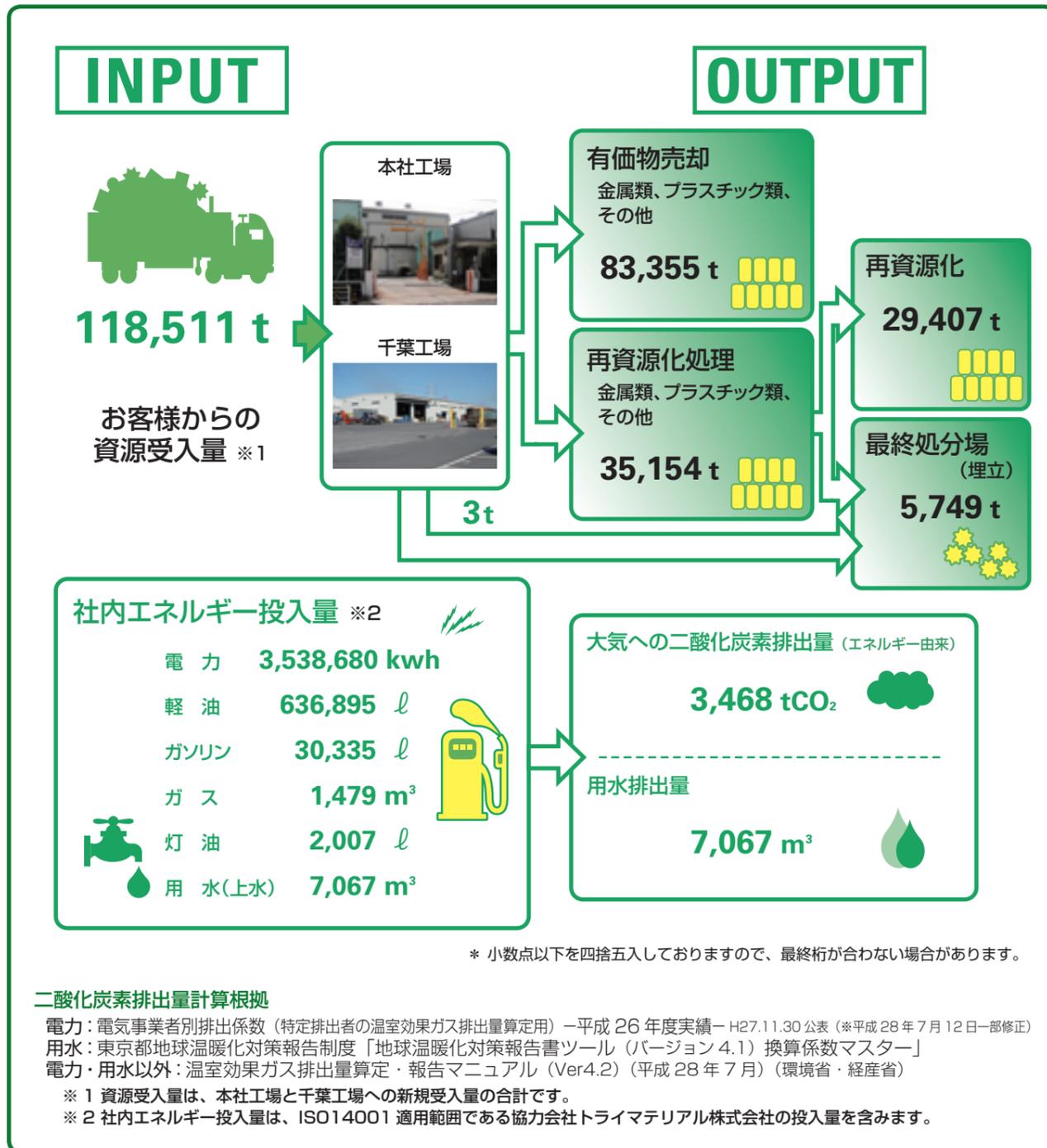
### ◆電力及び軽油使用量実績



# 5 事業活動と環境負荷

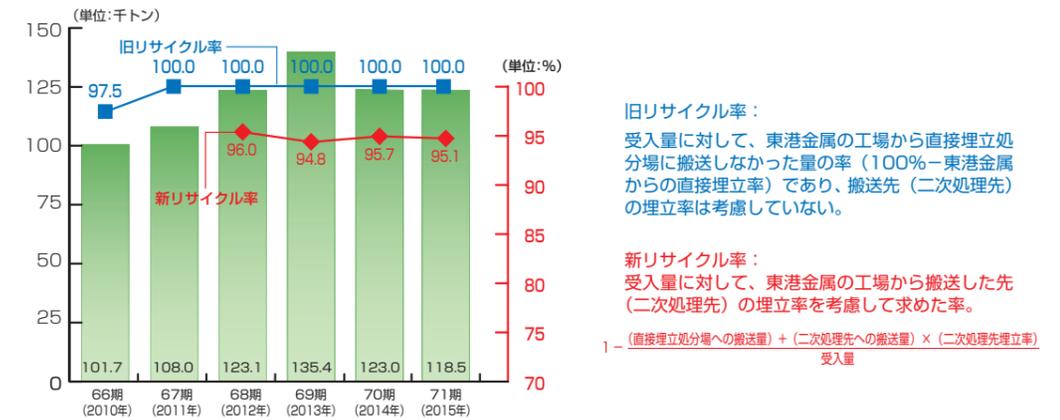
## 5-1 マテリアルバランス

当社事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方、活動における環境負荷として、電力や燃料などの各種エネルギーの消費に伴う温室効果ガスの排出があります。作業効率の向上や工程改善をすることで、環境影響を低減させる努力を続けて参ります。第71期（2015年7月～2016年6月）の主な環境負荷は以下の通りです。



## 5-2 マテリアルバランスの詳細

### 資源受入量とリサイクル率実績



### INPUT



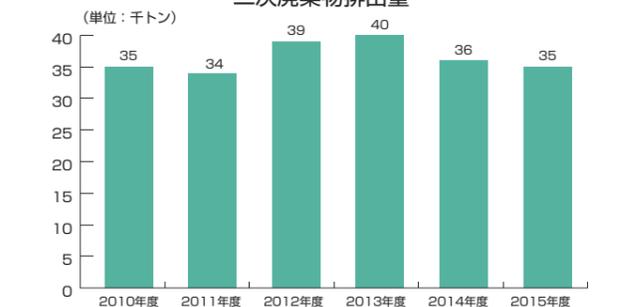
### OUTPUT



### 水資源使用量



### 二次廃棄物排出量

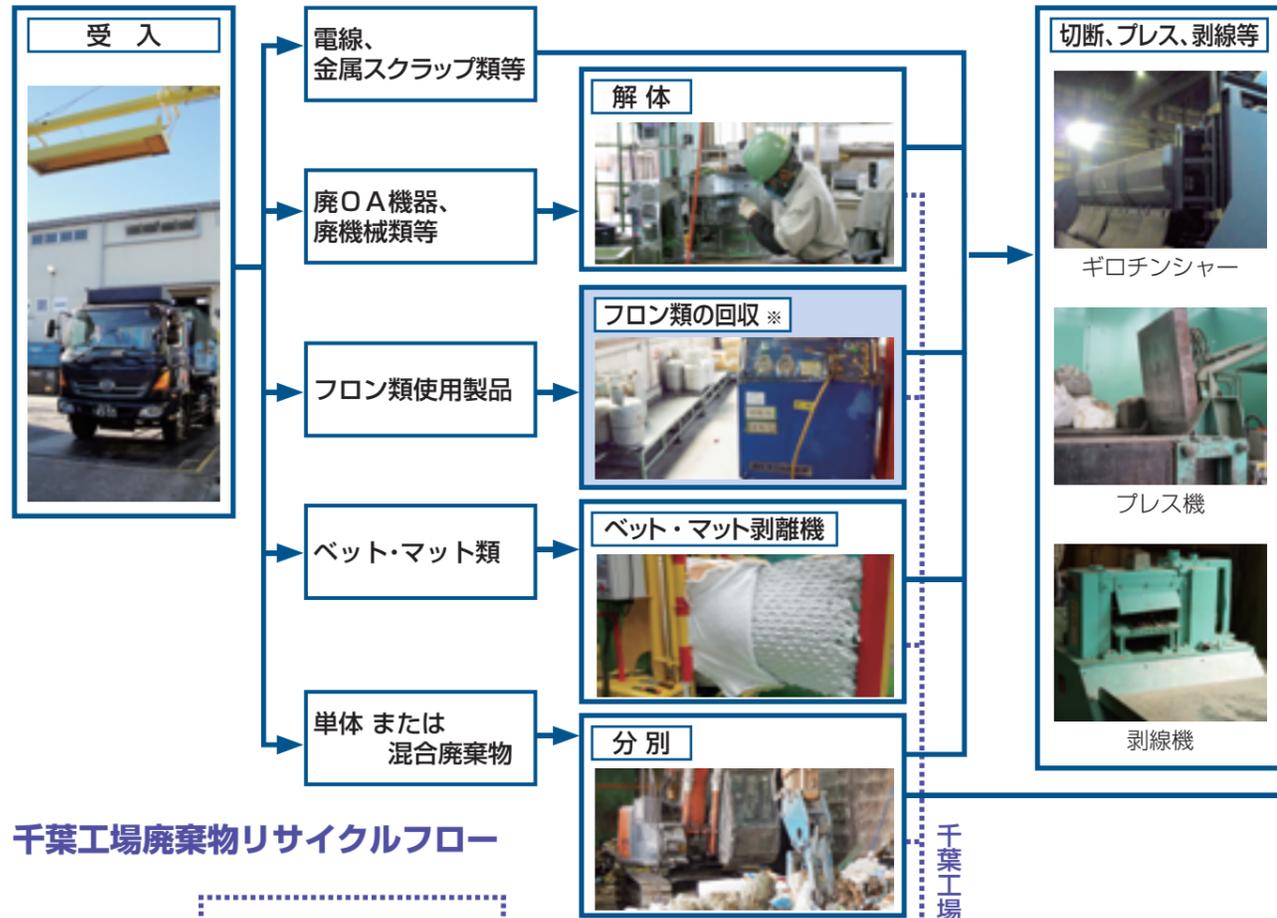


# 6 東港金属の責任と役割

## 6-1 事業所リサイクルフロー

### 本社工場廃棄物リサイクルフロー

本社工場では、多品目の取り扱いと徹底した選別で、出来る限り資源として循環することを目指しております。

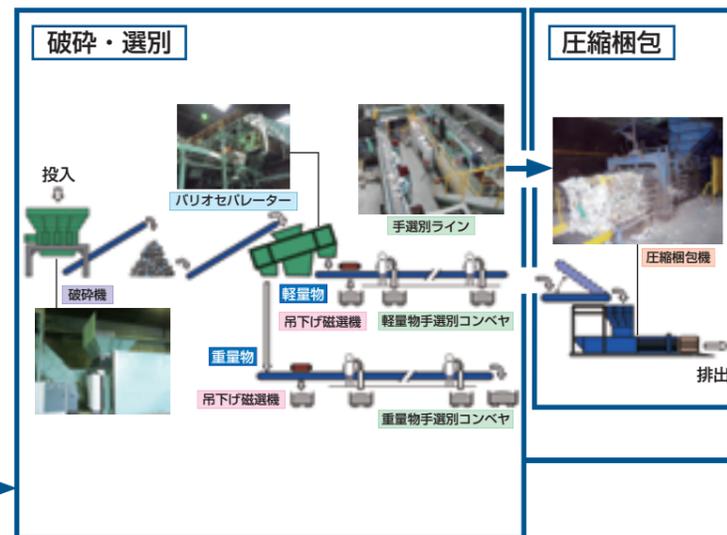


#### ※フロン類の回収

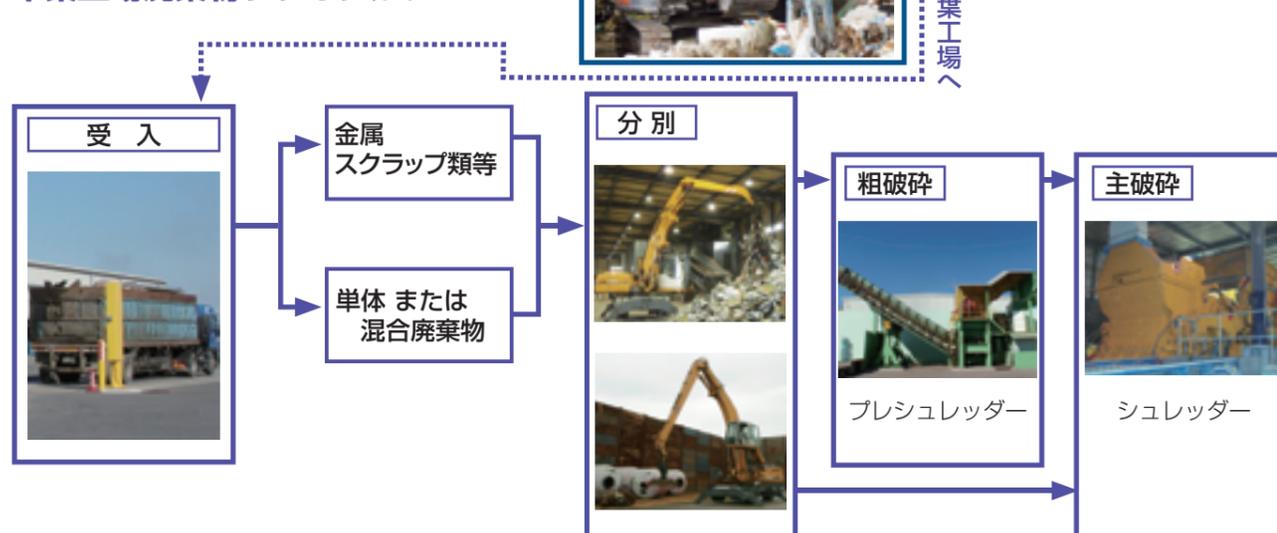
オゾン層の保護及び地球温暖化の防止のため、オゾン層を破壊したり、地球温暖化に深刻な影響をもたらしたりするフロン類の大気中への排出抑制やフロン類使用製品からの漏えい防止を目的に、フロン排出抑制法（改正フロン回収・破壊法）が制定されております。

当社は、東京都の第一種フロン回収充填業者として登録をし、搬入された業務用のエアコンや冷蔵庫の中に入っている冷媒用フロンを適正に回収し、破壊処理業者に引き渡しております。

気候変動が身近にも感じられています今、大気中に放出されるとオゾン層破壊や地球温暖化などを起こす一因となるフロンを正しく処理することで、フロン排出抑制法に対応して参ります。



### 千葉工場廃棄物リサイクルフロー



千葉工場のリサイクルフローでは、破碎と選別工程に最新鋭の設備を導入しております。主破碎には1千馬力のシュレッダーを導入し、シュレッダーで破碎した後は、磁選機・カラー選別機・手選別により、鉄・各非鉄・その他に選別し、後工程の圧縮梱包 / 適正処理の工程に移ります。

主な出荷製品(売却及び適正処理先へ)  
 マテリアルリサイクル及びサーマルリサイクル向けの原料化を可能な限り促進し、リサイクル率の向上と適正処理に努めております。

本社工場	
千葉工場	

#### 船積出荷

2016年(平成28年)より、スクラップの船による出荷も始めました。



## 6-2 環境安全管理の取り組み

### 環境測定結果

当社は、事業活動、製品及びサービスに付随して現れる汚染等の環境側面を常に認識して、周辺地域への環境に配慮しその予防に努めております。本社工場、千葉工場の業務に伴って発生する騒音・振動・悪臭・粉じん、及び構内から排出される雨水中の含有物質を自主的に測定し、皆様に開示しております。

今事業期の測定値は自主基準値内でした。今後もわずかな問題点にも処置対応を怠ることなく、地域周辺の環境保全に努め、環境保全水準の向上を図って参ります。

下記環境調査結果の概要版は当社ホームページにも公開いたしております。

#### 【本社】



騒音 臭気 粉じん

#### 【千葉工場】



騒音 臭気 粉じん

## 第71期 東港金属株式会社 環境調査結果(騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水)

調査実施機関：株式会社環境総合研究所【計量証明登録 濃度第592号、音第7号、振動1号】

調査期日

本社工場：平成28年4月27日(水)

千葉工場：平成28年4月22日(金)

調査方法：当該地域を規制する条例等の調査方法を採用(詳細は、弊社ホームページをご参照ください)

調査結果：適否の欄の記号は次のとおり。○：規制基準を満足 ×：規制基準を超過

### 1. 騒音レベル調査結果

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(騒音レベル)	適否	規制基準	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界(東)	9:10~9:20	61dB	○	70dB(参考)	工場内の稼働音
千葉工場	敷地境界(南)	10:10~10:20	61dB	○	70dB	工場内の稼働音

注)本社工場:工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第4種区域の規制基準を参考に示した。  
千葉工場:工業地域であるため、第4種区域の基準を当てはめた。

### 2. 振動レベル

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(振動レベル)	適否	規制基準	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界(東)	9:10~9:20	46dB	○	65dB(参考)	工場稼働
千葉工場	敷地境界(南)	10:10~10:20	50dB	○	65dB	工場稼働

注)本社工場:工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第2種区域の規制基準を参考に示した。  
千葉工場:当該地域は工業地域であるため、第2種区域の基準を当てはめた。

### 3. 悪臭

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果(臭気指数)	適否	規制基準
本社工場	敷地境界(東)	11:10	<10	○	13
	敷地境界(北)	10:30	<10		
千葉工場	敷地境界(北)	11:00	<10	○	-
	敷地境界(南)	11:15	<10		

注)本社工場:当該地域は工業専用地域であるため、第3種区域の基準値をあてはめた。  
千葉工場:富津市は臭気物質規制であり、臭気指数規制値はまだ規定されていない。

### 4. 粉じん

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果(総粉じん)	適否	規制基準
本社工場	敷地境界(東)	8:30~12:50	0.09 mg/m <sup>3</sup>	○	1.5 mg/m <sup>3</sup> (参考)
千葉工場	敷地境界(南)	8:40~12:40	0.13 mg/m <sup>3</sup>	○	1.5 mg/m <sup>3</sup> (参考)

注)東京都、千葉県ともに施設から発生する粉じん濃度には規制値は存在しないため、参考までに茨城県条例で粉じん発生施設に適用される基準値と比較した。

### 5. 雨水排水

「下水の水質の検定方法等に関する省令(昭和37年厚・建令1)」に基づき、下記項目について調査を実施。全ての項目で下水道基準値を満足しておりました。

調査項目:

カドミウム、全シアン、有機燐、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、テトラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、全クロム、銅、亜鉛、フェノール、溶解性鉄、溶解性マンガン、BOD、SS、n-ヘキサン(鉱油)、n-ヘキサン(動植物油)、全窒素、全リン、水素イオン濃度(pH)、温度、沃素消費量、1,4-ジオキサン

## 環境関連法規制遵守の現状

環境の法規制で当社及びトライマテリアル株式会社に係るものは以下の通りです。

第71期で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

環境側面	法、条例、等	要求事項(当社該当主要項目のみ)	主な該当施設等	主な該当部署	必用資格	
自動車運行	運搬車輛(自家用車)	道路交通法 NOx-PM法	①自動車免許、速度制限、積載制限 ②規制対応車種 ③PM減少装置の取り付け	運搬車輛(自家用車)	運輸部門(営業部門)	大型・普通免許
	運搬車輛	道路運送法、 貨物自動車運送事業法	運行管理者の選任	運搬車輛	運輸部門	運行管理者 試験合格者
【業】 *廃棄物の受入 *収集運搬及び処分業	金属屑、廃プラスチック、ガラス・ コンクリート、陶磁器屑、織 維屑、木屑、紙屑、ゴム屑、 がれき類、小型家電	廃棄物処理法 小電リサイクル法	①廃棄物再生業/廃棄物の収集運搬及び処分の許可 ②廃棄物の保管施設への掲示板の設置 ③委託基準の順守 ④マニフェストの使用及び返却等の管理 ⑤廃棄物処理責任者の設置 ⑥二社契約許可番号、事業の範囲、有効期限、処理能力、 重量、単価等の記載 ⑦産廃最終処分業者の処分場視察 ⑧環境に不可を与えない施設の維持管理 ⑨資源化を推進し、最終処分量の削減 ⑩地域住民との協調	業として被処理物の 受け入れ	全体	収集運搬業 中間処理業 古物商
【事業者】 廃棄物の排出	産業廃棄物の排出			業務全般からの排出		
【事業者】 廃家電等電気製品の排出	特定家庭用機器廃棄物、 パソコン	家電リサイクル法 改正リサイクル法			事務部門 生産部門	-
トラックスケールの使用	トラックスケール	計量法	トラックスケール台貫計量誤差検定 1回/2年 検査	トラックスケール (20t-40t-50t)	生産部門	-
火災の発生	指定可燃物	消防法	指定可燃物貯蔵量調査	工場棟及び 工場内設備	生産部門	-
フロン類の回収	業務用空調機・ 業務用冷蔵庫から のフロン回収	フロン排出抑制法	東京都知事による登録 適正回収、行程管理制度、引取証明書の交付	フロン回収設備等	生産部門 営業部門	第一種フロン類 回収充填業者 登録
材料およびエネルギーの 使用を物品の購入時に考慮	物品の購入	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷を軽減する	事務所	事務部門	-

## 環境会計

当社としての環境会計の算出方法を模索しておりますが、当社の本業が環境活動そのものであるため、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」に記載されておりますように、環境保全コストの把握に関しては今後の課題とさせていただきます。

<参考>

「本業として環境ビジネス(公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理リサイクル事業等)に取り組む場合の環境保全コストの把握(測定)に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握(測定)・公表することを妨げるものではありません。この問題については今後の課題とさせていただきます。」

平成12年3月 環境庁 環境会計システムの確立に関する検討会 「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」より抜粋

## グリーン購入の促進

当社では社内の物品調達について、共有使用できるものやリユースできるものの再使用をすすめておりますが、購入に際しても、環境に配慮した品質や価格だけで調達するのではなく、グリーン購入の考えに則した環境負荷低減に資する製品を積極的に使用することに努めております。

## 社員の主な資格一覧

2016年6月末日現在

資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数
フォークリフト運転技能者	45	冷媒回収技能者(登録講習会)	3	酸素欠乏危険作業主任者	3
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み及び掘削用)運転者	36	防火管理者	3	ISO14001内部監査員	3
車両系建設機械(解体)運転者	31	破碎・リサイクル施設技術管理士	2	簿記	2
玉掛作業者	29	危険物取扱者	1	第二種電気工事士	2
小型移動式クレーン運転士	16	古物商許可	1	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	2
ガス溶接技能者	14	安全管理者	1	MOSスペシャリスト	2
クレーン運転士 5t未満	11	衛生管理者	1	ISO27001内部監査員	2
アーク溶接作業員	11	産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程(新規/更新)	2	足場の組立て等作業主任者	1
高所作業車運転者	7	産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程(更新)	1	特定化学物質作業主任者	1
移動式クレーン運転士 5t未満	4	産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(新規/更新)	3	有機溶剤作業主任者	1
床上操作式クレーン運転士	3	産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(更新)	2	基本情報技術者	1
移動式クレーン運転士	2	整備管理者	1	陸災防安全衛生教育講師	1
クレーンデリック(クレーン限定)	2	大型自動車免許	13	職長教育	1
クレーン運転士(限定なし)	1	大型特殊免許	4	特別管理産業廃棄物管理責任者	1
不整地運搬車運転者	1	けん引免許	3	PCB廃棄物の収集運搬業従事者(講習)	1
安全衛生推進者	7	産業廃棄物処理業者講習会	15	公害防止管理者(大気一種)	1
はい作業主任者	5	救命技能認定	4	公害防止管理者(水質一種)	1

## 6-3 環境に係わる教育・コミュニケーション

### 環境教育

入社時には毎日の作業に関する社内安全・衛生知識の教育の他に、事業活動に付随して生じる環境影響を継続的に改善していくための環境マネジメントシステム（ISO14001）について、環境方針と環境管理体制を教育し、当社の組織の中で、社員全体の環境保全水準が向上するように指導を続けています。



入社時ISO研修資料（抜粋）



お客様及び社員へ、環境関連の参考情報として「羅針盤」を発行しています。



産業廃棄物処理業界の相場状況及び改正された法律の内容紹介などの参考情報や、当社のトピックスを羅針盤というニュース紙として毎月発行しています。今年11月で80号を発行しました。今までのバックナンバーは東港金属のホームページからご覧いただけます。

<http://www.tokometal.co.jp/rashinban/index.html>

号	発行日	トピックスタイトル
62	5月1日	フロン排出抑制法(改正フロン回収・破壊法)
63	6月1日	フロン排出抑制法(改正フロン回収・破壊法)
64	7月1日	小型家電リサイクル法に基づく回収・再資源化実績等
65	8月1日	廃棄物の処分に「無許可」の回収業者を利用していませんか？
66	9月1日	施行1年過ぎました。大気汚染防止法による飛散防止対策
67	平成27年10月1日	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び災害対策基本法の一部を改正する法律案の概要
68	11月1日	日銀短観と産業廃棄物処理業界景況動向調査
69	12月1日	環境配慮製品の評価(LCA)と廃棄物処理
70	平成28年1月1日	産廃(及び特管)のマニフェスト管理に関する期間
71	2月1日	鉄スクラップの価格推移
72	3月1日	PCB特措法の改正案
73	4月1日	中国における使用済み自動車リサイクル業界の流れ
74	5月1日	クールビズについて
75	6月1日	「黄砂」について
76	7月1日	「産廃エキスパート・産廃プロフェッショナル認定制度」について
77	8月1日	刀剣の産地「備前」と「鉄」のお話し
78	9月1日	SOLAS条約「国際海上輸送コンテナの総重量の確定方法の制度化」
79	10月1日	廃プラスチック・リサイクルの現状(その1)
80	11月1日	廃プラスチック・リサイクルの現状(その2)

### 月間MVP表彰者（期間 2015年7月～2016年6月）

日々のメンテナンスと安定した業務に努めた社員の中から次の方々をベストヤードマンとして月毎に表彰しました。



## 6-4 地域との共生

### 城南島鋳物団地協同組合の一員として

首都圏で唯一の鉄及び非鉄金属の総合団地である城南鋳物団地協同組合は、1978年大田区京浜島工業団地の20社により結成されました。当社は本組合の発足当時から組合員として地域発展に努めております。



城南島鋳物団地協同組合

### 事業所周辺の美化活動



周辺掃除



京浜島つばさ公園 右側が羽田空港

当社本社工場は大田区の東部、京浜島に位置し、地域北東部は城南島が、地域南東部から南部には羽田空港が、地域西部は昭和島があります（いずれも大田区）。地域の大半は工業団地です。当社への最寄り駅（バス停）の名前「京浜島海上公園」からもわかるように、当社の前は羽田空港のB滑走路に離着陸する飛行機を望める場所としても有名な「つばさ公園」があります。当社や公園を訪れる人が気持ちよく楽しめる場所となるよう周辺美化に努めています。

### 当社は自転車競技に注目しています

公益財団法人 日本自転車競技連盟（JCF）のオフィシャルスポンサーです。



東港金属は環境関連企業として、公益財団法人 日本自転車競技連盟（JCF）（自転車競技に参加する選手の皆様）を応援しております。

今、二酸化炭素に代表される温室効果ガスが地球温暖化を加速させ、浮遊粒子状物質（SPM）等の大気汚染物質も地球環境を悪化させております。異常気象は地球規模で起きており、四季がある日本でも今年の夏は温暖化を認めざるを得ないほど国内各地で酷暑が続きました。

自転車はジョギングと同じで人力を動力源としていることから、二酸化炭素および大気汚染物質を排出しない乗り物です。戦うフィールドによってまったく違った魅力を秘め、トラック競技場で行われるトラック・レース、一般道を走るロード・レースなど、参加選手自身のエネルギーだけでスピードを競い合うもので、そのスピード感が観戦者の心を躍らせます。

東港金属は、人々が楽しみながら、動力による消費エネルギーを少しでも遅らせることが出来る自転車競技を高く評価し、日本自転車競技連盟を応援することで、地球環境を守る一助としております。

毎年、日本ナショナルチームのユニホームには「東港金属」のロゴが使われています。

## 6-5 事業所の安全衛生

### 社員の安全・健康のために(安全衛生委員会及び安全衛生環境会議)

当社は、労働災害を防止し、社員が安全・健康に仕事を遂行できる職場環境を整えるため、協力会社トライマテリアル(株)と共に、各工場別の安全衛生委員会を組織し、年間安全衛生計画を意識付けています。

管理者及び安全衛生委員は、周期を決めて工程別の巡視活動を行い、会社の安全施策等の浸透確認と、想定外のヒヤリハット事例を洗い出し、委員会で全社としての対策、改善方法を策定・周知させて労働災害の防止に努めております。

また、工場別の全社員参加の安全衛生環境会議を定期的に行っています。会議では、生活の基本となる労働時間短縮を含めた職場環境の改善、メンタルなどの健康問題など、社員の健康保持に気を配ったテーマを意見交換しあっています。毎回、年間安全衛生計画の進捗確認をし、見直し修正事項については具体的なアクションにつなげています。

一方、業務の形態上、終日お客様の持込による廃棄物の搬入が続きまますので、細かいアクシデントもあることを含めると、「災害“0”」の目標はなかなか難しいことですが、朝礼や連絡会等で事故事例を発表し対策の徹底をしております。



### 「防災訓練(不意の災害に備えて)」

「天災は忘れた頃にやってくる」という故事がありますが、現代では忘れる間もなく、各地で天災が発生しています。当社は不意の災害に備えて、本社工場、千葉工場で毎月防災訓練(消火・避難)を実施し、数多く訓練の中で災害・防災の正しい知識と技術を習得し、チームワークで自助・共助に対応できるよう努めています。

本社工場は羽田空港の隣、千葉工場は大手製鉄所や東京電力と近接しており、いずれも港湾に面しているため、地震による津波への対応避難訓練も実施しております。



### 「安否確認システムの訓練」

災害時には全社員がWEBを利用した二つのシステムにアクセスし、各持場での安否を報告できるよう、「安否確認システムの訓練」を度々実施し、会社がすぐに安全対応が出来るようなシステムで非常時に備えております。

### 社員からの安否報告

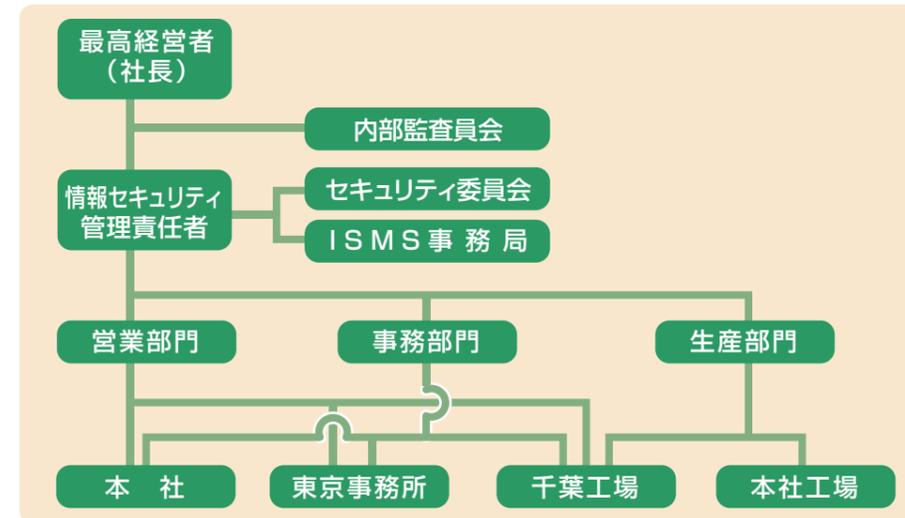


## 6-6 情報セキュリティマネジメントシステム体制

ネット社会となり、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。

当社は、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001の認証取得をいたしております。当社は「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と会社全体の情報セキュリティを推進することが、重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え、定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて、対策を実行しております。

お客様がかけがいのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、社員一人ひとりの意識向上を図るために、マネジメントシステムの構築、維持のPlan-Do-Check-Actのプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に意識の浸透を図り、推進してまいります。



### 情報セキュリティ基本方針

#### 1. 目的と活動の原則

東港金属株式会社は、金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。一方、事業の拡大に伴う本社事務所とヤード、他事業所、事務所等との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。情報セキュリティマネジメントシステム(以下ISMS)規格に準拠するISMSの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当社の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一丸となりISMSを実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

#### 2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

#### 3. ISMS組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にセキュリティ委員会とISMS事務局を設ける。また、ISMSのPDCAプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。情報セキュリティ管理責任者とISMS事務局は、当社のISMS全般に亘る管理、運営を行う。

#### 4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当社の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

2015年7月1日  
東港金属株式会社  
代表取締役 福田 隆

# 7 グループ会社

## トライマテリアル株式会社

トライマテリアル株式会社は、東港金属株式会社の協力会社として、お客様からお引き受けする貨物を「安全・確実・迅速」に輸送する役割を任っている、産業廃棄物収集運搬会社です。平成18年に創業し、今年は11年目となりました。10年という節目を越え、改めて物流業務の大切さを感じ、身を引き締めております。

当社は物流業務を通して社会に貢献し、持続可能な社会の発展を支える企業の一員であるという認識のもとで、東港金属株式会社と同様に環境方針を策定しております。環境マネジメントシステム (ISO14001) は本社営業所が東港金属株式会社と合同で認証を受け、収集運搬会社であることから、環境方針の重点テーマとして「運搬車両用の軽油使用原単位削減」を掲げております。

物流会社の基盤である輸送業務は、トラックから排出される二酸化炭素 (CO2) も大気汚染や地球温暖化などの環境に負荷をかける一因ともなっておりますので、日々、最短輸送経路や、アイドリングストップなど、小さな改善事項の効率化で、燃料使用量を削減することを心がけております。今年度も目標を達成できました。

お客様への対応につきましては、主な搬入先である東港金属株式会社が、都心にある産業廃棄物の中間処理場であるため、お客様の多様な収集希望時間に合わせ24時間の対応をしておりますことから、当社もおお客様の要望に沿うよう終日輸送をお引き受けしております。

輸送業務は、常に交通事故の危険性と隣り合わせの業務です。「安全第一、確実に運ぶこと」が最優先事項ですが、担当ドライバーはお客様に直接お会いする会社の代表ですので、毎日の朝礼、月1回のドライバー会議、東港金属株式会社と合同で隔月開催している職場安全衛生環境会議で接遇マナーを確認しあうなど、今後も地球環境問題への対応を含めた、お客様のお役に立つ会社として事業を進めて参ります。



### ■会社概要

社名 トライマテリアル株式会社  
<http://www.trimaterial.co.jp/>  
 代表者 代表取締役 青木秀夫  
 設立 2006年(平成18年)1月  
 資本金 1,000万円  
 従業員数 19名(2016年7月1日現在)  
 年商 約2.49億円(2015年12月期)  
 本社・本社営業所 東京都大田区京浜島 2-19-10  
 東京事務所 東京都品川区南大井 6-17-17  
 FINEビル2F  
 主な取引先 東港金属株式会社

### ■沿革

- 2006年(平成18年)
  - 1月 東京都中央区に一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業及び特定労働者派遣事業を目的として設立
  - 東京都大田区京浜島に東京営業所を設立
  - 3月 特定労働者派遣事業許可
  - 6月 一般貨物自動車運送事業許可
  - 7月 各地の産業廃棄物収集運搬業許可取得開始
- 2008年(平成20年)
  - 3月 東京都港区に本社移転
- 2009年(平成21年)
  - 7月 ISO14001 本社営業所で認証取得(東港金属株式会社と合同認証)
- 2010年(平成22年)
  - 2月 東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」の認定取得
- 2011年(平成23年)
  - 12月 東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」の認定取得
- 2012年(平成24年)
  - 3月 東京都及び千葉県で特別管理産業廃棄物収集運搬の優良認定取得
  - 11月 東京都大田区に本社移転
- 2014年(平成26年)
  - 12月 東京都の優良性基準適合認定制度「産廃エキスパート」認定更新
- 2015年(平成28年)
  - 7月~11月 福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県で産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
  - 10月 神奈川県で特別管理産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得

### 【環境方針】

トライマテリアル株式会社は、東港金属株式会社の協力会社として同社の環境方針に同調し、資源循環型社会の一翼を担う産業廃棄物の収集運搬業者として、環境負荷の少ない事業活動に取り組み、社会に貢献できよう企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、地球環境保全のために尽くします。

1. トライマテリアル株式会社の事業活動及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. トライマテリアル株式会社の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. トライマテリアル株式会社が行う事業活動及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

◇ 各種収集運搬用に供する車両で使用する燃料の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇を抑制することに努めます。

2015年10月1日  
 トライマテリアル株式会社  
 代表取締役 青木 秀夫

### 安全運転講習会を定期開催

安全運転を中心に、ドライバーとしての心得(エコドライブや道交法の確認)、周囲への気配り、ドライバーの健康管理等について、外部からの指導者を交えての講習会を開催し、社員の意識アップを図っています。



### セーフティドライバー・コンテストの表彰を受けました

本「セーフティドライバー・コンテスト」は、警視庁交通部が主催し、平成27年7月1日から12月31日までの6ヶ月間にわたって、運転者5人1組でチームを編成し、運転者に通常の業務・運転活動を通じて交通ルールの厳守と運転マナーの向上を呼びかけるとともに、参加事業者の交通安全意識の高揚を図り、トラック運送業界を挙げて交通事故の絶無を期することを目的としているものです。当社からも参加し期間中の無事故・無違反の達成に対して表彰されました。



### ベストドライバー表彰制度

「月間MVP」制度を設けております。



安全・迅速・丁寧を基本として、ドライバーのマナーを評価し、ベストドライバーを表彰しています。社員相互が切磋琢磨し、会社の品位向上も目指しています。



### 社員の資格一覧

2016年6月末日現在

資格区分	人数	資格区分	人数
フォークリフト運転技能者	19	大型自動車免許	19
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み及び掘削用)運転者	15	けん引免許	9
玉掛作業員	14	大型特殊免許	2
小型移動式クレーン運転士	14	大型自動車二種免許	1
車両系建設機械(解体)運転者	13	安全衛生推進者	2
床上操作式クレーン運転士	5	救命技能認定	2
ガス溶接技能者	5	職長教育	2
アーク溶接作業員	3	派遣元責任者	2
整備管理者	3	防火管理者	1
高所作業車運転者	2	産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(更新)	1
クレーン運転士5t未満	1	簿記	1
足場の組立て等作業主任者	1	交通労働災害防止担当管理者	1

# トライメタルズ株式会社

## 金属スクラップの資源リサイクルを高効率で実現

非鉄金属製品及びスクラップの販売及び輸出入を目的として設立。  
 お客様から排出される金属スクラップの収集・運搬及び選別・加工・保管を協力会社(東港グループ) 並びに委託会社により行い、輸出及び国内販売に関して、高品質でコストパフォーマンスの良い、資源リサイクルプロセスを実現しております。  
 また、2011年10月に品質マネジメントシステム(ISO-9001)の認証を受けております。

### ■会社概要

社名 トライメタルズ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 福田 隆  
 設立 2007年(平成19年)3月  
 資本金 600万円  
 従業員数 3名(平成28年6月末日現在 東港金属株式会社との兼務を含む)  
 年商 455百万円(平成28年6月期)  
 本社 東京都大田区京浜島 2-20-4  
 東京事務所 東京都品川区南大井 6-17-17 FINEビル2F  
 主な取引先 東港金属株式会社  
<http://www.trimetals.co.jp/>



### 協力会社相関図

Trinity 体制での運営



### ■協力会社事業所ロケーション

**トライマテリアル株式会社**  
 東京事務所:  
 〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル2F  
 TEL:03-5767-8867(代) FAX:03-5767-8870

**トライメタルズ株式会社**  
 東京事務所:  
 〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル2F  
 TEL:03-5767-8866(代) FAX:03-5767-8870

**トライマテリアル株式会社**  
 本社・本社営業所:  
 〒143-0003 東京都大田区京浜島2-19-10  
 TEL:03-3790-2882(代) FAX:03-3790-1755

**トライメタルズ株式会社**  
 本社:  
 〒143-0003 東京都大田区京浜島2-20-4  
 TEL:03-3790-1751(代) FAX:03-3790-1755

# 8 東港金属株式会社 アーカイブ (2代目社長 福田庸一の時代・中期)

東港金属株式会社は1902年(明治35年)故銅店・福田勝西商店の創業に始まり、今日までリサイクラーとしての永い歴史を歩んでまいりました。ここに、先達の歩んできた道を環境報告書の紙面で紹介させていただき、今後の東港金属の道標としたいと思っております。今回は、東港金属株式会社の二代目社長 福田庸一の時代(昭和20年~35年)を紹介いたします。

### 1946年(昭和21年)2月 福田庸一復員

昭和21年2月末に庸一は戦地中国大陸から復員船で鹿児島に上陸、3月2日我が家に帰還した。  
 終戦後、東京では店舗を持って問屋らしい営業をしている店が少ない中、故銅類、地金類の問屋として、昭和21年6月には福田地銅店を再開している。  
 一般伸銅品、リン青銅板も販売するという特長があったため、順調に立ち上がり、6月中旬ごろ開業して、8月には臨時利得税を数十万円納めるほどの成績を上げることが出来たと記録されている。12月には四国町(現在の芝3丁目)の350坪ほどの借地に、バラックながら倉庫を新築した。  
 その後23年までには、この土地を買い上げている。



東港金属の社屋

福田地銅店の社屋

### 1947年(昭和22年) 新会社設立

22年2月には下田氏(元店員)が同所に新築開店、同年秋には鈴木氏(原熊時代の後輩)が同所に住居を新築した。復員後直ちに庸一の店を手伝っていた山崎氏も独立開業していたし、下田氏も従兄弟の井原氏と共同で開業、鈴木氏も何れ開業することになると福田地銅店と合わせて四社が同一場所で競争することになるので、一同協議の上、全員で新会社を設立しようと言う事になった。  
 資金調整法とのからみもあり、株式会社福田地銅店、東港金属株式会社の二社を創立した。それぞれ18万円の全額払込済の会社にし、出資割当は、福田庸一が55%、福田澄三が15%、下田、山崎、鈴木の三氏が各10%と言うことでスタートした。登記は22年12月8日とし、実質的稼働開始は23年1月からと決定した。  
 日本中が焼土と化し、鉄、非鉄金属のスクラップの山であり、これを売買して会社を成長させている。



◀ 当時の作業風景 ▶

### 1954年(昭和29年) JIS規格(日本工業規格)制定に参画

昭和29年、35年、51年と3回に亘って改正された、銅及び銅合金くすのJIS規格制定に際し、庸一は委員として出席し、分類基準から表現の一句まで微細な点にこだわった有益な提言をしており、今日の巨大化したリサイクル業界においても、実用的に生かされている。



非鉄スクラップ読本

非鉄金属スクラップ

関東非鉄今昔

### 1956年(昭和31年)2月 非鉄スクラップ読本を上梓

昭和30年に産業新聞社から、庸一に入門書としての「非鉄スクラップ読本」出版の依頼があり、伸銅協会の成定正調査部長と共同で引き受け、翌31年2月に初版、33年に第2版を上梓した。  
 庸一は、その他に非鉄スクラップ読本の第3版としての「非鉄金属スクラップ」、そして「関東非鉄今昔」を何れも産業新聞社から出版している。



◀ OB会 [福向会] 発足

### 1956年(昭和31年)9月 福向会発足

東港金属OBの懇親会として福向会が発足し、現在も続いている。

### 1960年(昭和35年)3月 東京精錬株式会社を設立

板橋区に精錬及びインゴット製造を行う東京精錬株式会社を設立。それまでは、問屋業のため他社で銅合金を製造、精錬していたが、自社での製造、精錬を行うことが可能となった。



東京精錬株式会社 創業記念式典

# Toko Metal

Multi Material Recycler

110<sup>+</sup>  
Anniversary since 1902



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用